

施工説明書

清水垣 H=1800の場合

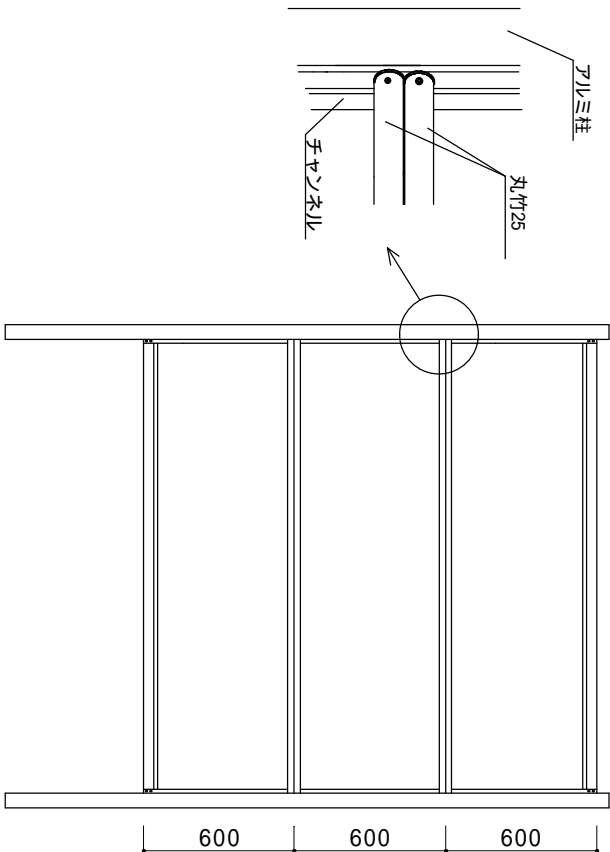
(茶竹仕様の場合、ビスもすべて茶色を使用します)

株式会社エクススタイル

施工に関するお問合せは

TEL 0776-38-2533

・：ビスどめ

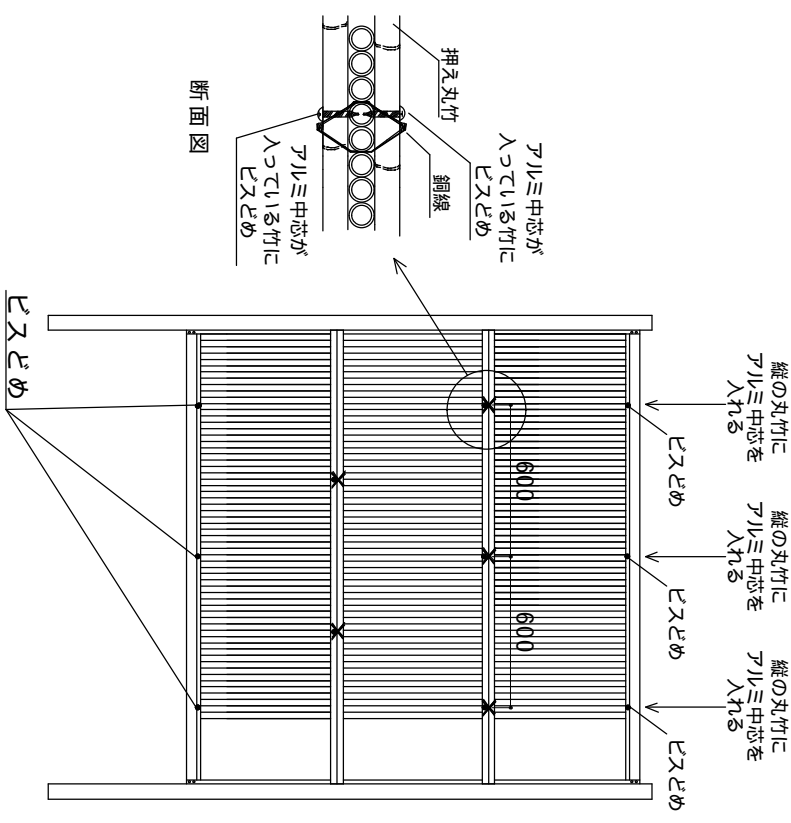


縦のチャンネルに押え用丸竹25 をビスどめする。

上胴縁から600mmさがった所に押え用の丸竹25 を2本取り付けます。丸竹キャップを
付け、下穴を開けてからビスどめして下さい。反対側も同じ様に2本取り付けます。

下胴縁から600mmあがった所にも同様に丸竹をビスどめして下さい。

4×35(110-)ビス使用



縦の丸竹を入れる

丸竹25 を端から順に入れ込みます。竹垣の中心から600mmピッチの場所にアルミ中芯を
入れて下さい。入れる箇所は3ヶ所です。途中で表側の押さえ丸竹と裏側の押さえ丸竹
を銅線を使って縛ります。銅線2本を斜め掛けにし、表と裏の丸竹で縦の丸竹を強く
挟みこむように、しっかり縛ります。縛り終わったら押え丸竹を縦の丸竹にビスどめして
下さい。 4×35(110-)ビス使用

注：縦の丸竹に隙間ができないように、きつく詰めながら入れて下さい。

施工説明書

清水垣 H=1800の場合

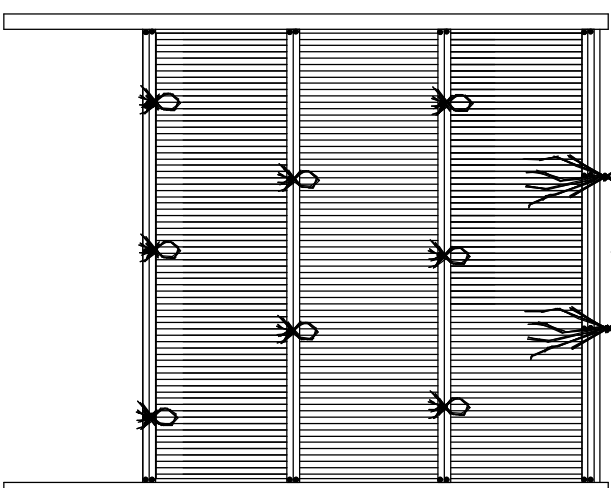
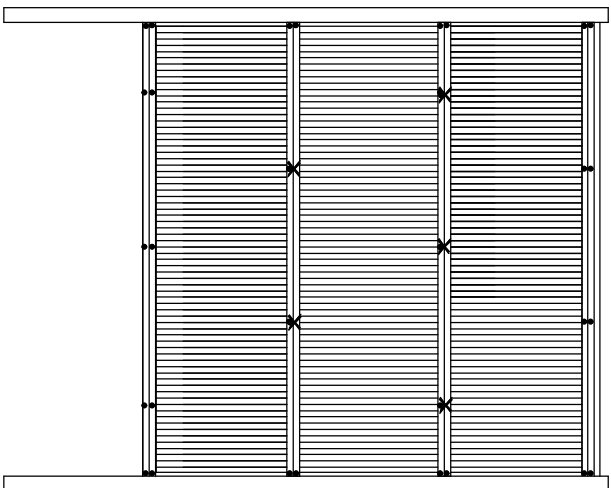
(茶竹仕様の場合、ピスもすべて茶色を使用します)

株式会社エクスタイル

施工に関するお問合せは

TEL 0776-38-2533

：ピスどめ



胴縁に丸竹を取り付ける

胴縁を隠すために丸竹を取り付けます。

上胴縁の表・裏に2本ずつ、下胴縁も同じようにピスどめします。

4×35(茶)ピス使用

上胴縁の上面に割り竹50を取付け、化粧結びをします。

割り竹50を上胴縁の上面にピスどめした後、人工棕櫚縄で化粧結びをします。

人工棕櫚縄の切り口は、バーナー等で少し熱を加えておくことで防止できます。

銅線・4×35(茶)ピス使用

棕櫚縄の結び方は別紙参照